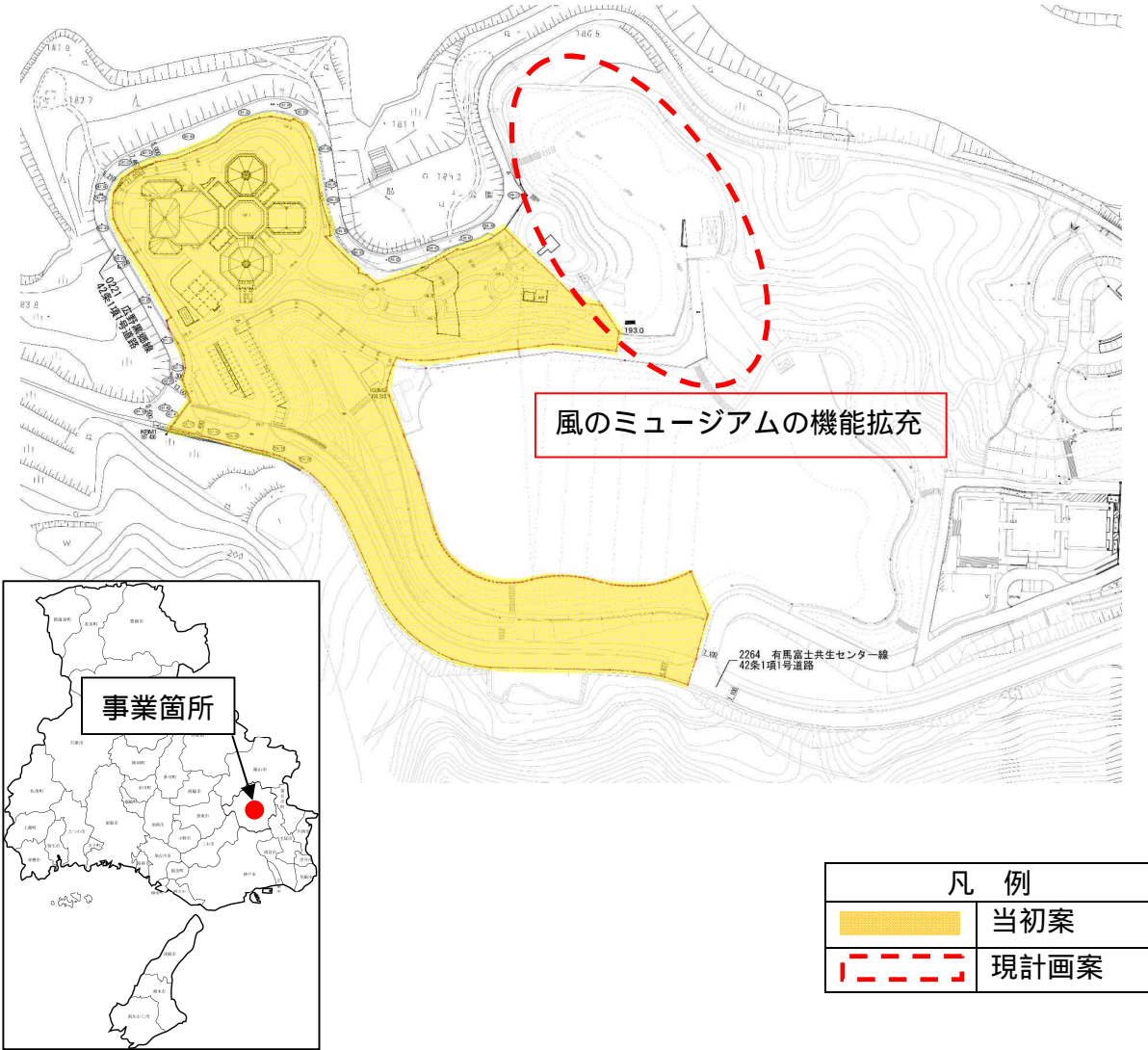

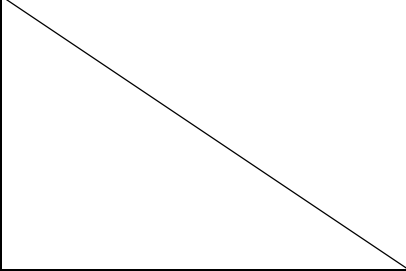


令和4年度 投資事業評価調書（継続：再評価）

部課室名	まちづくり部 公園緑地課		記入責任者職氏名 (担当者氏名)	課長 北村 智顕 (特定プロジェクト班長 大喜多 弘昌)	内線	4475 (4969)
事業種目	都市公園	新規評価年度	令和2(2020)年度		現計画	新規評価時点
事業名	県立有馬富士公園 (地球アトリエ)	事業採択年度	令和2(2020)年度	総事業費	未定	30億円
		着工年度	未着手	内用地補償費	0億円	0億円
事業区間	三田市尼寺 県立有馬富士公園休養ゾーン内			完成予定年度	令和5年度 (2023)年度	令和5年度 (2023)年度
				進捗率 (用補進捗率)	0% ()%	4% ()%
				残事業費	億円	億円
事業の目的				事業内容 () 新規評価時点		
<p>有馬富士公園の休養ゾーンでは、新宮晋氏の作品群である「風のミュージアム」を中心に、新能やジャズコンサートを開催し、「自然環境と芸術が織りなす新たな芸術文化を創造する公園づくり」を進めている。</p> <p>これをさらに発展すべく、体験型施設「地球アトリエ」の整備と運営計画について検討を進めてきたが、安定的な運営に必要な財源確保が見込まれない状況。</p> <p>当初予定していた施設整備は中止とし、持続可能なソフト事業を中心に「地球アトリエ構想」の理念を継承することにより、阪神北地域の観光振興や地域創生等に貢献する。</p> <p>新宮晋氏：三田市在住の世界的に著名な彫刻家 地球アトリエ構想：自然環境を最大限活用して、楽しく遊びながら学び、未来の生き方を考える活動</p>				<p>主要建物延床面積 (約 2,200m²) 体験交流館 - (約 700m²) アトリエ - (約 200m²) 劇場 - (約 850m²) カフェ・レストラン - (約 450m²)</p> <p>【負担割合】国50%県50%</p> <p>既存の「風のミュージアム」の機能を拡充し、地球アトリエ構想の理念を継承する事業を実施</p>		
事業を取り巻く 社会経済情勢 等の変化	<p>施設整備及び建物管理は県が、運営は新宮氏が中心となって設立した財団が担うという役割分担のもと、収支などの運営計画について検討を進めてきたが、コロナ禍やウクライナ侵攻の影響により企業等からの寄付の目途がなく、安定的な運営に必要な財源確保が見込まれない。寄付額は28,700千円/年を想定</p> <p>【新規事業評価からの事業計画・総事業費・工期の変更概要】 事業計画：当初予定していた施設整備は中止し、既存の「風のミュージアム」の機能を拡充して継続。 総事業費：30.0億円 未定</p>					
進捗状況	R4(2022)年6月に設計業務が完了したが、安定的な運営に必要な財源確保が見込まれないため、工事は未着手。					
評価視点	評価結果の説明					
審査会意見及び対応方針 (R2年度新規評価)	【審査会意見】 「地球アトリエ」及び「風のミュージアム」の取組が持続するよう、運営体制及び運営手法について検討されたい。			【対応方針】 運営計画に基づく安定的な運営に必要な財源確保が見込まれないことから、施設整備は中止し、ソフト事業中心の取組を実施。		
(1)必要性	「県立都市公園の整備・管理運営基本計画(2016-2025)」では、当公園の主要な役割のひとつとして「自然環境と芸術が織りなす新たな芸術文化を創造する公園づくり」が掲げられており、当事業を継続することにより、これを具現化する。 今後はソフト事業中心に新宮氏が提唱する「地球アトリエ構想」の理念を継承するため、活動拠点になる既存の「風のミュージアム」の機能を拡充する。					
(2)有効性 ・効率性 (執行環境状況)	既設の「風のミュージアム」の機能拡充に必要な取組を行い、県下の子ども達の環境教育のほか、芸術文化に親しむ機会の充実等に貢献する。					
(3)環境適合性	ソフト事業を中心に自然環境を最大限活用した取組を行う。					
(4)優先性	大阪・関西万博に合わせ、ひょうごフィールドパピリオンとしての活用を見据え、R5(2023)年度中の完成を目指す。					
再評価の結果	継続	左の理由	運営計画に基づく安定的な運営に必要な財源確保が見込まれないことから、予定していた施設整備は中止する。 一方、新宮氏が提唱する地球アトリエ構想の実現に向け、「風のミュージアム」の機能を拡充し、持続可能なソフト事業を中心とした取組を推進する。			

事業進捗状況概要図（継続：再評価）

事業名	県立有馬富士公園（地球アトリエ）	路線・河川名	県立有馬富士公園						
									
	事業箇所 		<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2">凡 例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 20px; height: 15px; background-color: yellow; border: 1px solid black;"></td> <td>当初案</td> </tr> <tr> <td style="width: 20px; height: 15px; border: 2px dashed red;"></td> <td>現計画案</td> </tr> </tbody> </table>	凡 例			当初案		現計画案
凡 例									
	当初案								
	現計画案								
	事業進捗状況・予定		整備効果						
全体 R2(2020) ~ R5(2023)	【事業費 = 30 億円】 実施設計 主要建物延床面積 約 2,200m ² （ 体験交流館 約 700m ² ） アトリエ 約 200m ² ） 劇場 約 850m ² ） カフェ・レストラン 約 450m ² ） 果樹園、菜園 トイレ、エントランス、園路、駐車場、周辺設備など								
事業採択～ 再評価まで R3(2021) ~ R4(2022)	【事業費 = 1.2 億円】 実施設計								
今後 1 年間 (予定) R5(2023)	【事業費 = 未定】 既存の「風のミュージアム」の機能拡充								

都市公園事業 県立有馬富士公園（地球アトリエ）【継続事業】

位置図

- 凡 例
- : 国道
 - : 県道
 - : 公園区域
 - 破線 ● : は休養ゾーン



事業箇所



【風のミュージアム(2014年開園)】



【有馬富士】

山のゾーン



【大芝生広場】

有馬富士公園

出合いのゾーン



【あそびの王国】

三田市

三田篠山線

三田後川上線

川西三田線

有馬富士公園線

新三田駅



出典: 国土地理院

地球アトリエ構想: 自然環境を最大限活用して、楽しく遊びながら学び、未来の生き方を考える活動

目的

地球アトリエ構想の理念を継承することにより、「自然環境と芸術が織りなす新たな芸術文化を創造する公園づくり」を推進し、阪神北地域の観光振興及び地域創生等に貢献すること

事業概要

事業区間: 三田市尼寺^{にんじ}
有馬富士公園の「休養ゾーン内」
総事業費: 未定
内用地補償費: -
事業期間: R2 ~ R5 (2020 ~ 2023)
事業概要: 風のミュージアムの機能拡充

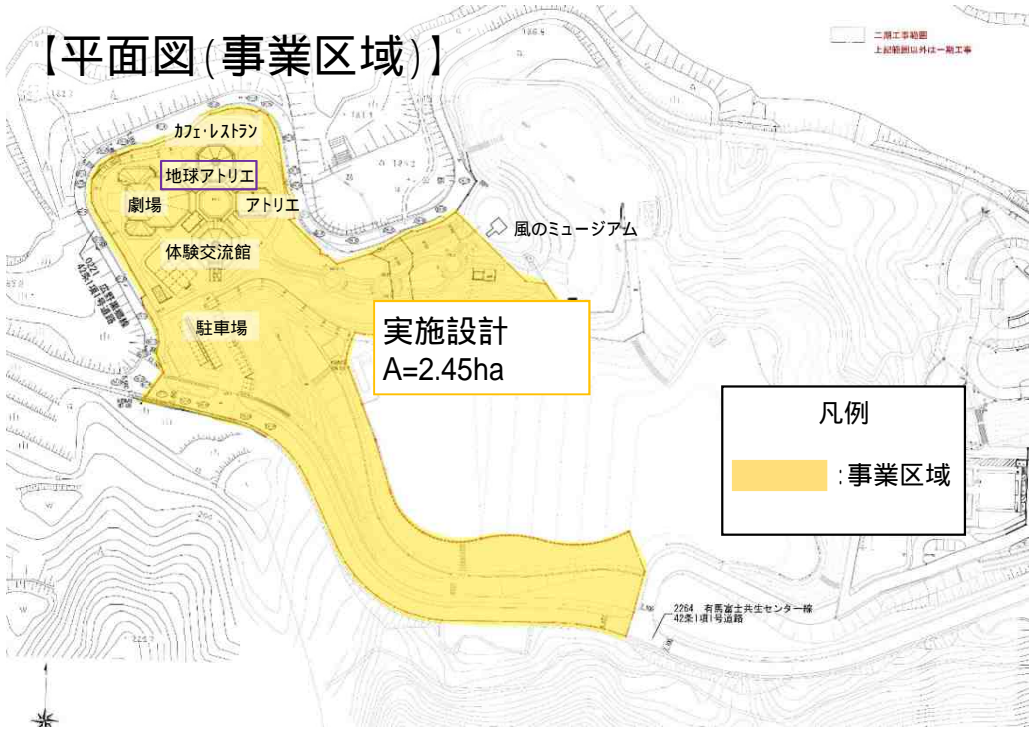
工程表

工種	年度			
	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023
風のミュージアムの機能拡充				

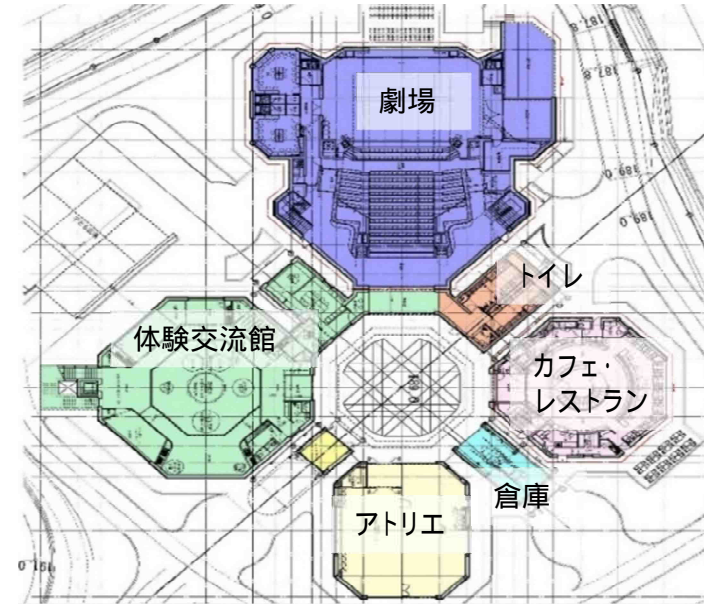
1 設計内容(当初計画)

当初は、体験型施設「地球アトリエ(体験交流館、アトリエ、劇場、カフェ・レストラン等)」の施設整備と運営を計画

【平面図(事業区域)】



【施設平面図】



【主な施設の概要】

施設区分	延床面積	体験できる内容
体験交流館	約700㎡	風や水で動く作品やミニチュア等の展示による新宮氏のアートの世界の体験等
アトリエ	約200㎡	アーティストの指導による工芸等の制作体験等
劇場	約850㎡	人形劇等の鑑賞、専門家の指導による演劇等の体験等
カフェ・レストラン	約450㎡	果樹園等での収穫物を利用した飲食体験等

【施設イメージ】



2 年間収支計画(当初計画)

役割分担： 県 施設整備及び建物管理(指定管理)
 (一財)地球アトリエ 運営(劇場、カフェレストラン、体験プログラムの提供等)

コロナ禍等により企業等から財団への寄付の目途がなく、安定的な運営に必要な財源確保が見込まれないことから、「地球アトリエ」の施設整備は中止

【年間収支計画】

(単位：千円)

内 容		開園後	備 考	
収入	自主事業 【財団担当】	物販	3,300	グッズ、絵本等の利益
		体験プログラム	28,608	
		寄付・賛助会費	28,700	
	指定管理業務 【県担当】	指定管理料	46,000	建物管理・光熱水費
		入館料	9,000	大人@400円、小人@200円
計		115,608		
支出	運營業務 【財団担当】	人件費	32,056	旅費・交通費含
		体験プログラム費	15,800	講師料等
		広告・宣伝費等	12,752	
	建物管理等業務 (指定管理業務) 【県担当】	建物管理等	37,000	
		光熱水費等	18,000	
計		115,608		

3 新規事業評価時からの事業計画等の変更

安定的な運営に必要な財源確保の目処がないことから、現時点で工事は未着手
 当初予定していた施設整備は中止し、既存の「風のミュージアム」の機能を拡充して継続
 工期は従前と同様〔R2(2020)年度～R5(2023)年度〕

区分	令和2年度			令和3年度												令和4年度												令和5年度																															
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3																	
1 基本・実施設計				[Blue bar from 2020.1 to 2021.3]																																																							
2 造成工事																			[Blue bar from 2021.3 to 2021.9]																																								
3 施設工事																																																											
4 風のミュージアムの 機能拡充																																																											

— : 当初計画
 — : 現計画

4 事業の必要性・優先性

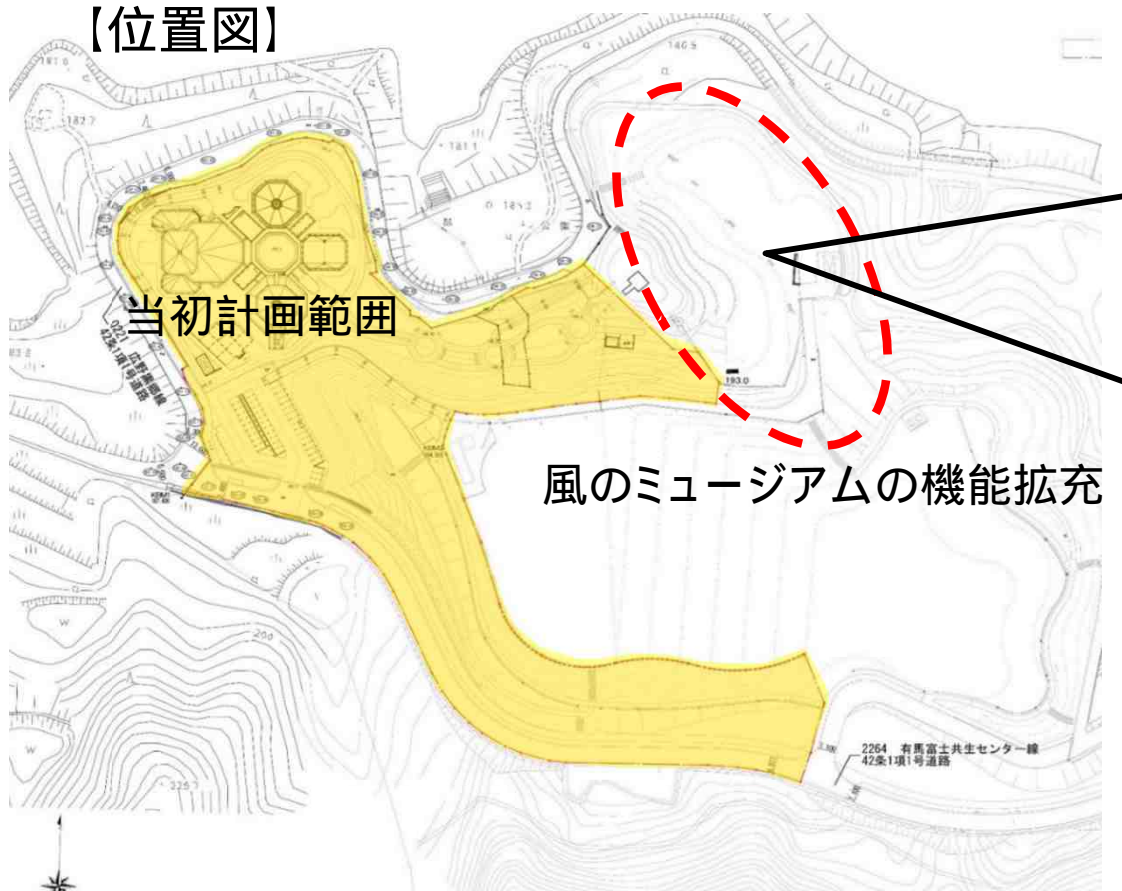
有馬富士公園の施策推進のため、今後はソフト事業中心に新宮晋氏が提唱する「地球アトリエ構想」の理念を継承

有馬富士公園の施策：「自然環境と芸術が織りなす新たな芸術文化を創造する公園づくり」

地球アトリエ構想：「自然環境を最大限活用して、楽しく遊びながら学び、未来の生き方を考える活動」

ひょうごフィールドパビリオンへの活用を見据え令和5(2023)年度中に活動拠点になる既存の「風のミュージアム」の機能を拡充

【位置図】



【風のミュージアム現況】



5 事業の有効性・効率性

新宮晋氏の作品群が展示され、様々な芸術文化イベントが行われている既設の「風のミュージアム」の機能拡充に必要な取組みを行い、県下の子ども達の環境教育のほか、芸術文化に親しむ機会の充実等に貢献

【風のミュージアム施設】



風のミュージアム全景



新宮晋氏作品



風の庵(休憩施設、情報発信拠点)

【風のミュージアムでのイベント実績】



風の能



元気のぼり



風のジャズ